

生物資源×データ技術:新たな価値創出への挑戦

2025年8月1日(金) 14時~16時40分 JBAオフィス/オンライン ※終了後に交流会あり

近年、未利用の植物資源や遺伝資源に注目が集まり、それらをデータ技術と融合させることで、新たな産業の可能性が広がっている。多角的な視点から、資源の潜在力を最大限に引き出し、新たな価値を創造するための取り組みについて議論を深め、幅広い分野の皆様にとって、最新の知見とネットワーキングの機会を提供する場となることを目指す。「若手ダイナモ人財小委員会」・「バイオエンジニアリングにおけるオミックス解析技術」「バイオ製品開発のDX・自動化」小委員会企画協力



松田 朋子 氏(Coordinator)

(株)日本バイodata Senior Principal Scientist
 大阪大学大学院 工学研究科生物工学専攻 招へい 研究員
 バイオエンジニアリング領域若手ダイナモ人財小委員会副リーダー



養王田 正文 氏(座長)

東京農工大学大学院
 工学研究院 教授
 バイオエンジニアリング
 研究会 副会長



3Dフードプリンタで作成した寿司

武政 誠 氏

東京電機大学大学院
 先端科学技術研究科
 物質生命理工学専攻 教授

特別講演

食感分析・設計・製造実現に向けた課題と
 解決への模索 ~食感AI分析とフード3D
 プリンタによる新規食感創出法開発~



矢野 貴裕 氏 楠奥比呂志氏

平田機工(株)
 研究開発本部 遺伝資源研究開発部

未利用の海外植物遺伝資源を
 使った新たな商品の
 研究・開発への挑戦



新井 由紀氏

ヤンマーホールディングス(株) (株)日本バイodata 代表取締役
 技術本部中央研究所
 バイオイノベーションセンター

ヤンマー×酒造メーカー×米生産者で、生物資源とデータ技術の融合:
 "三方良し"を目指した新しい
 酒米プロジェクト



緒方 法親 氏

(株)日本バイodata 代表取締役
 大阪大学大学院 工学研究科
 生物工学専攻 招へい教授

生物資源とデータ技術の融合:
 シャノンとラマルクから考える
 データと生物の未来